

## 事業者向け

## 児童発達支援自己評価表(あおば)令和7年12月15日公表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			適切なスペースが用意されている
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		基準に合わせて配置しているが、手薄に感じる場面が多くある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	6		階段や段差が数段あるため、設置可能な場所にはスロープを設置する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			支援後の時間に、その日の振り返り、情報を共有している。その際に共有ノートを作成し全職員が把握することが出来るようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			毎年必ず職員間で共有するようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			公開はしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		毎年必ず職員間で共有するようにしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			2ヶ月に1度外部講師からの研修を受講している。また社会福祉協議会等から研修のお知らせを受けて全職員が様々な研修を受講することが出来るように予定を組んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			半年に1度、必ず保護者面談を行う。日々送迎の中でもお子さんに対する情報を共有し、保護者のニーズに応えられるよう工夫をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		必要時に使用している。私たちがまだ知らないツールがあるのではと感じているため、学び中である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			職員会議の中で、相談しながら決定している。支援者も一緒にワクワクすることができるようなプログラムを設定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			曜日や月ごとに変化する活動を設定し、お子さんが様々な経験を出来るよう設定している。
	13	課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			活動や遊びの中でお子さんに合った目標を意識しながら支援に当たるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7			1人1人の発達状況を見ながら活動に合わせて、クラスを設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		活動の流れや配慮すべき点などの再確認などをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎日必ず行い、参加できない職員へは共有ノートにて伝えている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			目標に対してどのような支援をしたのかお子さんがどんな姿があったのか等をシステムをとして記録し、後日見直しても分かりやすいようにしている。

	18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			管理者・担任がモニタリングを行い、全職員へ共有し、全職員が把握している状態にしている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			5領域を組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			管理者、担任が参加しお子さんの情報と共に学ぶ。
	21 保育園・幼稚園との情報共有(年間計画・行事予定等の交換等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			併行通園する園にお子さんの様子を見学に行かせていただくようしている。また送迎時に話を共有する。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5		受け入れていない。
	23 保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			自立支援協議会主催の子ども部会などで共有する場があったり、担当者会議の中で共有、理解に努めている。
	24 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			会議や引継ぎの場を設けている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			研修に参加したり、つくし巡回などの機会を設けている。
	26 保育園や児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	6		法人内の保育園に在園するお子さんとの交流を予定しているが現在は出来ていない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時に今日の様子を伝えたり、家庭での様子の聞き取り、どんな支援が必要とされるかを検討し共有し共通理解に努めている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	1	1	5	行政で行われる講習の案内などを配布している。事業所ないでもペアアトレを行なうことが出来るように学ぶ必要性がある。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時や面談時に説明をし、事業所内にも掲示をしている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			職員間で話し合いを行い、適切な助言と支援が行えるよう努めている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	4	父母会は行っていないが、療育参観の場で保護者同士がお話しする機会を設けている。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			職員間で共有し、その日のうちに改善策を出し保護者に返している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月おたよりを発行したり、HPに情報を公開したりしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			知り得た情報やお子さんが写る写真の扱いには厳重の注意を払っている。書類等は鍵のかかる書庫に保管をする。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			その子に関わる全ての機関と連携を取り、丁寧に保護者に伝えることを心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		6	法人本部でバザーなどのイベントを開催し、地域との関わりが持てるような機会を設けている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルを作成し、全職員に周知している。保護者には契約時に冊子を配布し伝えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			地震・火災・不審者訓練を毎月必ず実施している。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			毎年全職員が受講することを必須としている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			契約時に伝えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	1	現在はアレルギー対応があ必要なお子さんはいないが、必要に応じて医師の診断書に基づき、食事を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			振り返りの場で共有し、記録を残し改善方法を話し合いその日のうちに改善するように努めている。



持有に努めている。